

暖か	故人やがて古人となりぬ暖かし 故人いつか古人となりぬ暖かし	2021. 1. 20	春一番	特急も春一番も止まらない	2020.12.20		
				特急も春一番も止まらずに	2020.12.21		
	あたたかやほころびそめし花の色 花びらの五枚もありて暖かし	2021. 1. 20 2021. 1. 21		特急も春一番も過ぎ行けり			
	暖かに今日の日記を書き終る	2021. 1. 20		墓石に春一番の吹くことよ 墓石に春一番の快き	2020.12.20		
	暖かや綻び初めし花の色 暖かやほころびそめし花の色	2021. 1. 20		墓石に春一番のこそばゆき			
	暖かや紙飛行機が空を飛ぶ	2021. 1. 20		坂道を春一番の子が駆ける	2020.12.20		
	暖かやつむじ右巻き左巻き	2021. 1. 20		日本に春一番の土煙 武蔵野に春一番の土煙 日本や春一番に舞ひ上る	2020.12.20		
	どこまでも暖かさうな空と雲 どこまでも暖かさうな青き空 青空の暖かさうに雲を乗せ 青空は暖かさうに雲を乗せ 青空や暖かさうに雲を乗せ	2021. 1. 20		自転車に春一番の重たけれ 目覚めよと春一番の吹き荒るる	2020.12.20 2020.12.20		
	日永	永き日の日当りの良き二階かな		2021. 3. 1	ジェット機に春一番の空気孔 春一番空気取入口へかな	2020.12.20	
		永き日の日あたりの良き二階かな		2021. 3. 4	春一番と先を争ふ救急車 春一番と先を争ふやうにかな	2020.12.20	
		永き日の日あたりのよき二階かな			遠く来て春一番の一途なる	2020.12.20	
		永き日のひあたりのよき二階かな			梅見	驚くや梅見の寺の鐘の音	2020.12.20
		永き日を次々に発つひかりかな 次々とひかりは西へ日の永き		2021. 3. 1 2021. 3. 4		徳川の人も来てゐる梅見かな	2020.12.20
		永き日の自画像はまだ未完成 永き日の自画像にまだ顔のなき 永き日の自画像の顔さだまらず 永き日の自画像の顔やり直す 永き日の自画像の顔描き直す 永き日の自画像をまた描き直す 永き日の自画像の目を幾度も 永き日の自画像の目と対話して 永き日の自画像の目の難しき		2021. 3. 1 2021. 3. 4			
永き日の蜂蜜壇の重きかな 永き日の蜂蜜壇の重さかな 永き日の蜂蜜の壇重きかな 永き日の蜂蜜の壇おもきかな ながき日の蜂蜜の壇おもきかな ながきひの蜂蜜の壇おもきかな 永き日の蜂蜜の壇重たけれ 永き日の蜂蜜壇の重たけれ		2021. 3. 4					

入学	正面に広場ありけり入学す 大いなる広場ありけり入学す 大いなる広場なりけり入学す ビルの前に広場ありけり入学す ビルの前に広場もありて入学す 大いなる広場がありて入学す	2021. 2. 18	入学	本ばかり読んで退屈入学す 読まされて本の退屈入学す 読まされて本つまらなし入学す 読まざる本の退屈入学す つまらない本ばかりなり入学す つまらない本を詰め込み入学す つまらない本をカバンに入学す むづかしき本をカバンに入学す	2021. 2. 18
	上の階は上級生や入学す 二階には二年生みて入学す 二階には二年生なり入学す 二階には二年生かも入学す 恐ろしき六年生や入学す 六年生は最上階や入学す 二階以上は上級生ぞ入学す 入学や六年生の巨大なる 入学や六年生の大いなる 入学や六年生の恐ろしき 入学や上級生が上の階	2021. 2. 18 2021. 4. 5		² _ハ 入学式へ長き廊下を幾曲り ² _ハ 入学式へ長き廊下をまた曲る	2021. 2. 18 2021. 4. 5
	硝子窓多き部屋なり入学す 硝子窓連なる部屋に入学す 入学や窓の沢山ある部屋に 入学や窓が二段に三段に 教室の大きな窓に入学す 教室の大きな窓や入学す 教室の窓の大きく入学す 教室の窓の輝き入学す	2021. 2. 18 2021. 4. 4 2021. 4. 5		たくさんの明日がやうやく入学す たくさんの明日が過ぎ去り入学す ² ₀ たくさんのあしたがたまり入学す ² ₂ たくさんのあしたをためて入学す あり余る明日がありて入学す ² ₀ あり余る明日ありけり入学す ² ₂ あり余る時間ありけり入学す 山盛の明日ありけり入学す 山盛りの明日は知らず入学す 山盛りの明日は知らず入学児 山盛りの明日を知らずや入学児	2021. 2. 18 2021. 4. 5
	大方は子供なりけり入学す 学校は大方子供入学す 学校は子どもが多し入学す 学校は子どもの埒入学す 学校は子どもの埒入学す	2021. 2. 18 2021. 4. 4 2021. 4. 5		² _ハ 使ふのが惜しき鉛筆入学す	2021. 2. 18
	はじめてのことばかりなり入学す	2021. 2. 18		鼻紙と今は言はねど入学す 鼻紙と今は言はぬと入学児 鼻紙とは言はぬ世代の入学す 鼻紙と言はぬ世代の入学す 鼻紙と言つて通じぬ入園児 鼻紙と言へど通じぬ入園児 鼻紙はティシュと言へり入園児 鼻紙をティシュと言へり入園児 鼻紙はティシュなりけり入園す 鼻紙も改名の世ぞ入園す 鼻紙も名を代へる世ぞ入園す	2021. 2. 18 2021. 4. 4 2021. 4. 5
	絵本より小さき教科書入学す 絵本より柔らかな本入学す 絵本より教科書柔ら入学す 絵本より教科書やはら入学す 入学の教科書やはら絵本より 絵本より教科書小さし入学す	2021. 2. 18 2021. 4. 5		入学の釦嵌めるももどかしく 入学の釦嵌めるは母の役 入学の釦嵌めよと母を呼ぶ 入園の釦嵌めよと母を呼ぶ 入園のボタン嵌めよと母を呼ぶ	2021. 2. 18 2021. 4. 4 2021. 4. 5
				² _ハ 幼稚園と逆方向に入学す	2021. 2. 18

雲雀	粒子から波動に変化揚雲雀	2021. 1. 31	雲雀	百年前の雲雀の籠や飾りある	2021. 2. 4
	粒子からやがて波動に揚雲雀			百年前の雲雀の籠やオークション	2021. 2. 5
	粒子からやがて波動へ揚雲雀	2021. 2. 3		百年前の雲雀籠とやオークション	
	降り注ぐ光の中の雲雀かな	2021. 1. 31		百年前の雲雀籠とや蚤の市	
	ふりそそぐ光の中の雲雀かな			百年前の雲雀籠とや入札す	
	ふりそそぐ光のなかの雲雀かな			青空の青の析出揚雲雀	2021. 2. 4
	ふりそそぐ光のなかを揚雲雀			雲雀野の小学校の小さきかな	2021. 2. 5
	声もまた弾けるやうに揚雲雀	2021. 2. 2		雲雀野に小さき小学校ありぬ	
	次の世へ言伝て頼む雲雀かな	2021. 2. 3		雲雀野の小学校に赴任せり	
	雲雀野に幸ある如しありぬべし	2021. 2. 3		雲雀野の小学校を退職す	
	雲雀野に幸ある如し日を浴びて			雲雀野の小学校に入学す	
	雲雀野に幸ある如し子ら駆ける	2021. 2. 5		雲雀野の小学校に通ふなり	
	雲雀野は光の幸と云ふべかり			雲雀野の小学校に通ひたし	
	雲雀野は光の幸に満たされて	2021. 2. 7		雲雀野の小学校に来てみれば	
	雲雀野に溢るる如く揚雲雀	2021. 2. 3		雲雀野の小学校の窓硝子	
	雲雀野を溢るる如く揚雲雀			本当は落下楽しむ雲雀とも	2021. 2. 5
	晴天の声澄み渡り揚雲雀	2021. 2. 3		大空の青ひばり野のみどり	2021. 2. 5
	晴天の清く正しく揚雲雀	2021. 2. 4		どこまでもX軸や揚雲雀	2021. 2. 5
	幾度も立坑穿つ雲雀かな	2021. 2. 3		長き長きX軸や揚雲雀	
	揚雲雀おいしい水のあるならむ	2021. 2. 3			
	揚雲雀おいしい水を飲むゆふべ	2021. 2. 4			
	揚雲雀おいしい水を飲ませたし				
	父母も家路なるべし遠雲雀	2021. 2. 4			
	父母も家路なるべし夕雲雀	2021. 2. 5			
	揚雲雀花の遅速に拘らず	2021. 2. 4			
	弾丸も雲雀も命尽きるまで	2021. 2. 4			
	夕雲雀一番星を啜へ来よ	2021. 2. 4			
	ゆふひばり一番星をくわへ来よ				
	夕雲雀一番星を突くなり				
	ひび割れて雲雀の卵雛一羽	2021. 2. 4			
	ひび割れて雲雀の卵雛の声				
	揚雲雀制空権を手放さず	2021. 2. 4			
	初雲雀飛ぶメガヘルツ・ギガヘルツ	2021. 2. 4			
	雲雀錯綜メガヘルツ・ギガヘルツ				
	雲雀飛ぶ空メガヘルツ・ギガヘルツ				
	揚雲雀反重力のある如し	2021. 2. 4			
	揚雲雀地球に弾き飛ばされて				
	地球ほど鈍感でなし揚雲雀				

引鶴	北国といふも外つ国鶴帰る	2021. 1.12	菜の花	菜の花に菜の花いろの月あかり	2021. 2.16
	北国のさらに北国鶴帰る	2021. 1.13		なの花になの花いろの月あかり	2021. 2.26
	雲いくつ青空に消ゆ鶴帰る	2021. 1.12		麓には菜の花咲かせ蜜柑山	2021. 2.16
	引鶴を追ふ雪雲のありにけり	2021. 1.12		菜の花を麓に咲かせ蜜柑山	
	引鶴を追ふ雪雲の二三片			菜の花を咲かせて春の蜜柑山	2021. 2.17
	引鶴に食はれしものも北へ旅	2021. 1.13		菜の花の浮き立つ黄色まのあたり	2021. 2.16
	引く鶴は明日かと思ふ胸騒ぎ	2021. 1.13		菜の花の浮き立ちみゆる黄色かな	
	鶴引くは明日かと思ふ胸騒ぎ			菜の花のうき立ちみゆる黄色かな	
	引鶴や長旅は死を零しつつ	2021. 1.13		菜の花のうき立つやうな花盛り	
	鶴引くや長旅は死を零しつつ			菜の花に園児は見え保母二人	2021. 2.16
	引鶴の大方は生少しは死	2021. 1.20			
	死にたるは海の藻屑や鶴帰る				
	死にたるは海の藻屑ぞ鶴帰る				
	落ち行くは海の藻屑ぞ鶴帰る				
	引鶴の都落ちとも思ふかな				
	鶴引くは都落ちとも思ふかな				
	鶴引くや長旅の死を零しつつ				
	引鶴に小学校の正しさよ	2021. 1.13			
	鶴引くや小学校の授業中				
	引鶴の目に昼の月昼の星	2021. 1.13			
	引鶴に噓の鶴もありぬべし	2021. 1.13			
	引鶴に噓の鶴もあるならむ				
	引鶴に居眠る鶴もあるならむ				
	引鶴に微睡むことの許されず				
	地の磁気の嵐の中を鶴帰る	2021. 1.13			
	荒れ狂ふ地磁気の中を鶴帰る	2021. 1.15			
	引鶴の空へ洗濯物を干す	2021. 1.13			
	残雪の穢れを厭ひ鶴帰る	2021. 1.13			
	引鶴や煙草の灰の長き落つ	2021. 1.15			
	鶴引くや長き煙草の灰の折れ	2021. 1.16			
	鶴引くや煙草の灰の長く伸び				
	鶴引くや煙草の灰は長く伸び				
	引鶴や朝の沢庵ばりばりと	2021. 1.16			
	鶴引くや朝の沢庵ばりばりと	2021. 1.20			
	大いなる吹雪の国へ鶴帰る	2021. 1.20			
下萌	下萌の踏まれやすきも覚悟かな	2020.12.31			
	下萌に土こそばゆき昨日今日	2020.12.31			
	闊歩する人に負けじと下萌ゆる	2020.12.31			

蚊帳	2 0 2 1	こんなにも大きな蚊帳のあらうとは こんなにも大きな蚊帳があらうとは	2021. 6. 2	蚊帳	飽きることなく蚊帳を出たり入ったり 楽しくて蚊帳の出入りや飽きもせず	2021. 6. 3
		広げ見る旅行案内蚊帳の中 旅のごとく旅行案内蚊帳の中 旅のごと地図を広げて蚊帳の中	2021. 6. 2 2021. 6. 3		出入りの横に縦にと蚊帳楽し げらげらと蚊帳の出入りや飽きもせず げらげらと蚊帳の出入りを飽きもせず	
		垂れてゐる蚊帳を中より突く遊び 垂れてゐる蚊帳を中から突く遊び	2021. 6. 2		広げつつ蚊帳の匂ひの懐かしや 広げたる蚊帳の匂ひの中に座す	2021. 6. 3
		ふる雨の家に籠りて蚊帳を吊り ふる雨の家に籠りて蚊帳の中 雷激し家に籠りて蚊帳の中 雷激し家の中なる蚊帳の中 雷を避け家の中なる蚊帳の中 落雷や家の中なる蚊帳の中 家に籠り蚊帳に隠れて雷を避く 雨戸繰り蚊帳に隠れて雷を避く 雨戸繰り蚊帳に隠れて雷を聞く	2021. 6. 2 2021. 6. 3		冒険の懐中電灯蚊帳の中	2021. 6. 3
	2 6	真ん中と四隅のありぬ蚊帳の中	2021. 6. 2	蠅叩	商標の閻魔大王蠅叩 蠅叩これも地獄へ落るもの 頼もしき閻魔大王蠅叩 商標は閻魔大王蠅叩 蠅叩閻魔大王印なり 蠅叩閻魔大王御用達 蠅叩閻魔大王執務室 蠅叩閻魔大王手に取りて 蠅叩閻魔大王また壊す	2021. 4. 28 2021. 5. 6
	2 0 2 1 6 3	母を呼ぶだけで楽しき蚊帳の中 母を呼ぶだけで楽しい蚊帳の中 母に声かけ父に声かけ蚊帳の中 呼んでみるだけで楽しき蚊帳の中 呼んでみる外の父母蚊帳の中 外の人を呼んで楽しき蚊帳の中	2021. 6. 3		地獄には死者を鞭打つ蠅叩 地獄には亡者を叩く蠅叩 去ね去ねと賽の河原の蠅叩 歩け歩けと賽の河原の蠅叩 蠅叩賽の河原の塔崩す 亡者打つ獄卒なれば蠅叩	2021. 5. 6
		蚊帳の中すこし体が軽くなる 蚊帳の中すこし体が浮き上る 浮くごとく漂ふごとく蚊帳の中	2021. 6. 3			
		ある時はタイムマシンに蚊帳変化	2021. 6. 3			
		げらげらと取っ組み合ひや蚊帳の中 笑ひつつ取っ組み合ひや蚊帳の中 たちまちの枕合戦蚊帳の中	2021. 6. 3			
		幽閉も愉しからずや蚊帳の中	2021. 6. 3			
		お化けには見えぬと言はれ蚊帳の中 お化けには見えぬ筈なる蚊帳の中 蚊帳の中ならばお化けに食はれぬと お化けには見えてをらざる蚊帳の中	2021. 6. 3			
		蚊帳ふたつ吊つて連結部分かな	2021. 6. 3			

浴衣	橋の上に浴衣の花を点しけり	2021. 4. 8	蟻	ゆつくりと蝶の煽げる蟻の列	2021. 4. 1
	橋の上に浴衣の花を咲かせけり	2021. 4. 9		ゆるゆると蝶の煽げる蟻の列	
	橋の上に浴衣の花の匂ひけり			力なく蝶の煽げる蟻の列	
	橋の上に浴衣の花を派手にな	2021. 4.13		ちからなく蝶の煽げる蟻の列	
	橋の上の浴衣の花の派手なこと			ちからなく蝶のあふげる蟻の列	
	川風に浴衣の花の匂ひけり			ちからなく蝶の煽げる蟻の群	
	川風に浴衣の花の吹かれをる			ちからなく蟻を煽げる蝶の翅	2021. 4. 3
	橋の上に浴衣の君の五六人			ちからなく蟻を煽ぐや蝶の翅	
	橋の上に浴衣の君の揃ひけり			蝶の翅静かに蟻を招き寄せ	
	橋の上に浴衣の君の打ち揃ひ			招くかに揚羽の翅や蟻来る	2021. 5. 8
	橋の上に浴衣の君のうち揃ひ			蝶の翅招くが如く地に動く	2021. 5.10
	舟の上に浴衣の君のうち揃ひ			招くかに揚羽の翅や土の上	
	船の上に浴衣の君のうち揃ひ			招くかに翅が動けば蟻来る	
	夕暮の浴衣の君と待ち合はず	2021. 4. 9		蝶の翅蟻を招くが如く揺れ	
夕暮に浴衣の君の現はるる			招くかに翅が揺れをる蟻来る		
夕闇に浴衣の君の現るる			招くかに翅が揺れれば蟻来る	2021. 5.11	
夕闇に浴衣の君のあらはるる					
ゆふやみに浴衣の君のあらはるる			神の石に仏の土に今朝の蟻	2021. 3.31	
若きらの揃ひの浴衣背まちまち	2021. 4.13		神仏の庭に朝日と今朝の蟻		
			神仏の庭に働く今朝の蟻		
			神仏の庭に働く朝の蟻	2021. 5.10	
			蟻の巣に蝶の倉庫のありぬべし	2021. 3.27	
			蟻の巣に蝶の倉庫もありぬべし		
			蟻の列蝶の倉庫に続くらむ		
			蟻の道蝶の倉庫に続くらむ		
			蟻の巣に翅の倉庫のありぬべし		
			蟻の巣に鱗粉倉庫ありぬべし		
			蟻の巣に鱗粉の部屋ありぬべし		
			切株にも食ひをれば蟻の列	2021. 3.27	
			走り根がこんな処に蟻の道	2021. 3.27	
			斥候か単騎の蟻の忙しなく	2021. 3.27	
			斥候か単騎の蟻の他見えず		
			彷徨へる単騎の蟻の他見えず		
			槍もなく単騎の蟻の彷徨へる	2021. 3.31	
			槍もなく一騎の蟻の彷徨へる		
			蟻一騎槍も持たずに彷徨へる	2021. 4. 2	

蟻	蟻の列小石の多きこのあたり	2021. 3.27	蟻	集りたる蠅の上にも蠅集る	2021. 4.28
	蟻の列小石混じりのこのあたり	2021. 4. 1		蠅古く蠅新しく集りをる	2021. 4.28
	蟻の道小石混りのこの辺り	2021. 4. 2		蠅古く蠅新しく嫌はれて	2021. 5. 6
	蟻の道小石混りの土の色			蠅古く蠅新しく飛び廻る	
	蟻が行く小石混りの土の色	2021. 4. 3		叩きたる処に蠅のくつつきぬ	2021. 4.28
	土の色小石の色を蟻が行く			食にたかり糞にも集ふ蠅の生	2021. 4.28
	蟻が行く小石の色と土の色			飯にたかり糞にもたかり蠅生くる	
	土の色小石の色の上に蟻	2021. 5.12		飯も糞も分け隔てなく蠅集る	2021. 4.29
	土の色小石の色の上を蟻			飯にたかり糞にもたかり無敵の蠅	2021. 5. 5
	蟻が行く土や小石の色の上			飯にたかり糞にもたかり蠅無敵	2021. 5. 6
	蟻黒し土や小石の色の上			飯にたかり糞にもたかる蠅無敵	2021. 5. 6
	細々と来て群がれる蟻の山	2021. 3.31		飯にたかり糞にもたかり蠅楽し	
	細々と来て山となる蟻の群			田畑に牛馬のなく蠅もなし	2021. 5. 4
	細々と来て山盛りの蟻の群			田畑に牛馬消えて蠅もなし	
	細々と来て山盛りの蟻となる			田畑に牛馬消えて蠅さびし	
	細々と来て山盛りの蟻の数			田畑に牛馬絶えて蠅もなし	2021. 5. 6
	細道を来て山盛りの蟻の数			2021. 5. 6	たかりたる蟻のしづけさ蠅うるさ
細長く来て山盛りの蟻の数	たかりたるうるさき蠅としづかな蟻				
曲折の果の山盛り蟻の道	わんわんと蠅しんしんと蟻の列				
曲折の果の山盛り蟻の列	2021. 5. 6		わんわんと蠅しんしんと蟻たかる		
曲折の果の山盛り蟻光る			腐肉あり空より蠅が地から蟻	2021. 5. 6	
曲折の果の山盛り蟻怒る			腐肉あり空よりは蠅地から蟻		
曲折の果の山盛り蟻の声	2021. 4. 1		腐肉あれば空よりは蠅地から蟻		
曲折の果の黒山蟻光る			腐肉あれば空から蠅が地から蟻		
曲折の果の黒山蟻動く			腐肉あれば空からは蠅地から蟻	2021. 5.10	
曲折の果の黒山蟻たかる			蟻の巣に分解済の蝉いくつ	2021. 5.17	
蛾	蛾が舞つて百鬼の夜となりにけり		2021. 4. 4	蟻の巣の分解済の蝉の数	2021. 5.20
	蛾が舞つて百鬼の夜の来りけり			蟻の巣に分解済の兜虫	
	蛾がまつて百鬼の夜となりにけり	蝉の穴見守ることもなかりけり		2021. 5.20	
	火蛾舞つて百鬼の夜となりにけり	死出の旅へと饞の蝉の穴		2021. 5.20	
	身を以て火中に挑む大蛾かな	飛び立つは死出の旅なり蝉の穴			
	大き蛾の燃え残りたる哀れかな	飛び立つは死出の旅路や蝉の穴			
	大き蛾の燻つてゐる哀れかな	飛び立てば死出の旅なり蝉の穴			
	大き蛾のまだ燻つてあたりけり	飛び立つて死出の旅路や蝉の穴			
	大き火蛾まだ燻つてあたりけり	朝顔もはかなかりしが蝉の穴		2021. 5.20	
	文様の地味な恨みや火蛾の舞	朝顔やはかなかりしは蝉の穴			
憎らしき大蛾の厚みありありと	2021. 4.15	朝顔もはかなかりしが蝉の声			
恐ろしき大蛾の厚みありありと		朝顔もはかなかりしが蝉時雨			
恐ろしや大蛾の厚みありありと					
蝶うすく大蛾ぶ厚く憎らしき	2021. 6. 4				

罌粟の花	罌粟咲くや人の生死に拘らず	2021. 3.11	葉桜	花は葉に鯨の開きはひきしまり	2021. 3.10
	罌粟の花ためらひもなく美しき	2021. 3.11		花は葉に鯨の開きは身が締めり	
	罌粟咲くやためらひもなく美しき			花は葉に鯨の開きに蠅たかる	
	罌粟咲くや躊躇ひもなく美しき			花は葉に鯨の開きは縦横に	
	たつぷりと毒を盛りたる罌粟の花	2021. 3.11		花は葉に鯨の開きは並べられ	
	たつぷりと毒を盛られし罌粟の花	2021. 3.15		花は葉に鯨の開きは整列し	
	罌粟咲くや毒あるものの美しき	2021. 3.17		花は葉に鯨は切られて開かれて	
	時に毒時に薬や罌粟の花			花は葉に鯨は切られて日に干され	2021. 3.15
	毒になるか薬になるか罌粟の花			花は葉に鯨は開かれ日に焼かれ	2021. 3.16
	毒薬の罌粟ぞ二重に囲まれて			花は葉に鯨は開かれ日に干され	2021. 3.18
毒薬の罌粟ぞ二重の柵の中			開かれて鯨は干物に花は葉に		
嘘つきの舌が真つ赤や罌粟の花	2021. 3.17		花は葉に鯨は開かれ日に刺され		
嘘つきの舌が真つ赤ぞ罌粟の花			花は葉に鯨の干物は開かれて		
嘘つきの舌が真つ赤に罌粟の花			花は葉に干物にすべく鯨ひらく		
ご法度の罌粟ぞ二重の柵の中	2021. 3.17		花は葉に干物の鯨は開かれて		
禁断の罌粟ぞ二重の柵の中			花は葉に鯨は開かれ干されをる		
			花は葉に鯨は切られて砂浜に		
			花は葉に鯨は切られて網の上		
			花は葉に鯨は切られて網の上に		
			花は葉に鯨の開きに蠅が来て		
			花は葉に鯨の干物は浜風に		
			花は葉に鯨の開きは浜風に		
			俯せの本や赤子や花は葉に	2021. 3.10	
			葉桜や蛇口捻れば水が出て	2021. 3.15	
			葉桜と蛇口を渡る水と	2021. 3.17	
			葉桜やざあざあ水のほとばしる	2021. 3.18	
			ざあざあと水ほとばしり花は葉に		
			ざあざあと水を使ふや花は葉に		
			ざあざあと水仕の音や花は葉に		
			花は葉に蛇口の水は進り		
			進む蛇口の水や花は葉に		
			ざあざあと水仕の佳境花は葉に		
			ざあざあと水の奔放花は葉に		
			ざあざあと水は奔放花は葉に		
			進む水の奔放花は葉に		
			奔放に水進り花は葉に		
			葉桜のころの昼よし夜もよし	2021. 3.15	
			葉桜のころを寝過ごすことなけれ	2021. 3.18	
			葉桜のころは元気に歩くべし		

葉桜	葉桜や火の見櫓の懐しき	2021. 3.18	秋	身辺や雨に消え行くものの秋	2021. 7.18
向日葵	向日葵のややおざなりの花びらよ	2021. 5.17		信号の青に消え行くものの秋	
	向日葵にややおざなりの花びらが			秋なれや元より赤き消防車	
向日葵	向日葵の馬鹿馬鹿しくも背の高き	2021. 5.17	秋の暮	帰りゆく鴉が鳴いて秋の暮	2021. 8.29
	向日葵の大きく咲いて馬鹿馬鹿し	2021. 5.20		空腹の如き寂しさ秋の暮	2021. 8.24
向日葵に馬鹿馬鹿しくも水をやる			空腹に似て寂しさや秋の暮	2021. 9. 2	
向日葵	向日葵や吊られてゐるは牛の肉	2021. 5.17		空腹のやうな寂しさ秋の暮	
	向日葵や吊られて重き牛の肉			空腹のやうな虚しさ秋の暮	
向日葵	向日葵や釣られて重き牛の肉	2021. 5.20		理科室に硝子器多し秋の暮	2021. 8.24
	向日葵のやや軟弱な花びらよ			理科室に硝子器数多秋の暮	
向日葵	向日葵の花びら円周上にあり			駅前を離れて暗し秋の暮	2021. 8.24
	向日葵の円周上の花びらよ			駅前の少し外れの秋の暮	
				駅前を少し外れて秋の暮	
				裏道に電車の見ゆる秋の暮	2021. 9. 1
				路地裏に電車の見ゆる秋の暮	2021. 9. 2
				路地裏を電車の走る秋の暮	
				駅前に始まる銀座秋の暮	2021. 8.24
				縁側に人のをらざる秋の暮	2021. 8.29
				縁側に雑巾のある秋の暮	
				縁側に雑巾乾く秋の暮	2021. 9. 2
				寂しさに橋を渡りぬ秋の暮	2021. 8.29
				秋の暮橋を渡れば寂しいぞ	2021. 9. 2
				秋の暮橋を渡るは寂しいぞ	
				特急の止まらずに行く秋の暮	2021. 8.29
				神もまた寂しかるべき秋の暮	2021. 9. 1
				神様も寂しかるべき秋の暮	
				神様も寂しかるらむ秋の暮	
				神もまた寂しかるらむ秋の暮	
				神もまた寂しかりしや秋の暮	2021.10.16
				神々も寂しかりしや秋の暮	
				神々も寂しがりしや秋の暮	

夜長	長き夜の人なき部屋の時計かな	2021. 8.15	天の川	人住まぬ星は寂しや天の川	2021. 6.21
	長き夜の厨に時を刻みをる	2021. 8.16		人住まぬ星の輝き天の川	2021. 6.23
	長き夜の厨に時を刻むなり			連なりて意味をなすなり天の川	2021. 6.22
	長き夜の厨に時を刻むもの	2021. 8.17		連なりて意味なす言葉天の川	
	² _^ 流れゆく夜長の川となりけり	2021. 8.15		天の川月の始めとなりけり	2021. 6.16
	² _^ 流れゆく夜長の川の彼方かな	2021. 8.16		天の川月の始めの位置に付く	
	² _^ 流れゆく夜長の川の平らかな	2021. 8.17		² _^ 旅はまだ続くある夜の天の川	2021. 6.21
	² _^ 病院も駅も夜長の灯を点し	2021. 8.15		北国のさらに北へと天の川	2021. 6.22
	長き夜の暗き電車の操車場	2021. 8.19		北国の北へ北へと天の川	
	長き夜の人なき電車操車場			山々は北へ北へと天の川	
	長き夜の無人電車の操車場			陸奥の北の外れの天の川	
	長き夜の人のをらざる操車場			みちのくの細道の上の天の川	2021. 6.28
	長き夜のしんと静まる操車場			細道を行きし人あり天の川	
	長き夜の屋根を連ねて操車場			先人の細き道あり天の川	
新涼	² _^ 新館も旧館も涼新たなり	2021. 6. 6	日本は弓なりの国天の川	2021. 6.22	
	² ₀ 新涼の圧力鍋の弱火かな	2021. 6. 6	天の川集めて大き砂時計	2021. 6.23	
	² ₁ 新涼の圧力鍋の強き圧		銀漢を集めて大き砂時計		
	新涼の跡形もなき蝉の穴	2021. 6. 6	銀漢を集めて神の砂時計	2021. 6.25	
	縦横に生姜刻みて涼新た	2021. 6.15	天の川掬うて神の砂時計	2021.11.25	
	刻みたる生姜新涼の香を放つ		天の川掬ひし神の砂時計		
	刻みたるもの新涼の香を放つ				
	² _^ 新涼の深き眠りを賜りぬ	2021. 6.15			
	² _^ 新涼の仏を彫りし木屑かな	2021. 6.15			
	² _^ 新涼の仏を彫りし木屑なり	2021. 6.16			
	新涼や街頭の灯の消ゆるころ	2021. 6.15			
新涼や町中の灯の消ゆるころ					
新涼や明け方の灯の消ゆるころ					
新涼や町並の灯の消ゆるころ					
新涼の草の丈さへ新しき	2021. 6.16				
新涼や草の丈さへ新しき					
新涼の草のさみどり深みどり	2021. 6.17				
秋彼岸	花を選ぶ秋の彼岸の入りにかな	2021. 7. 5			
	花を選ぶ秋の彼岸の色は何				
	花を選ぶ秋の彼岸は明日なり	2021. 7. 6			
	花を選ぶ秋の彼岸となりけり				
	花を選ぶ秋の彼岸のお中日				
	通り雨秋の彼岸の入りにかな	2021. 7. 6			
通り雨秋の彼岸となりけり					
通り雨つくづく秋の彼岸かな	2021.11.25				

新酒	2 0 1 2 ^	新酒と同梱米より白き酒の粕	2021. 8.13	新酒	下戸なれど新酒の頃の酒の粕	2021. 8.14
	新酒と同梱米の白さの酒の粕		酒粕も新酒の頃の香を放つ			
		酒粕も送つてくれし新酒かな	2021. 8.14		酒粕も新酒の香なり炙るべし	
		来るべき新酒を待てるきのふけふ	2021. 8.13	飛蝗	名にし負ふきちきちばつたきちきちと	2021. 6.15
		明日届く新酒を待てる古酒の夜			稲の子にあらざる飛蝗飛びにけり	2021. 6.15
		注文の新酒を待てる古酒の夜	2021. 8.14		稲の子の飛んで飛蝗となりにけり	
		新酒の荷割物注意の札赤く	2021. 8.13		いなごいなご飛んで飛蝗となりにけり	
		札赤く割物注意新酒着く			稲子麻呂飛んで飛蝗となりにけり	2021. 6.17
		札赤く割物とある新酒着く			蝗麻呂飛んで飛蝗となりにけり	
		割物と赤く書かれし新酒着く			ふつくらと蝗細身の飛蝗かな	2021. 6.15
		割物と赤き札貼り新酒着く			飛蝗飛ぶ小さき皇子を背に負ひて	2021. 6.15
		割物と赤く書かれし新酒の荷	2021. 8.14		飛蝗飛ぶ幼き皇子を背に負ひて	2021. 6.17
		割物と赤く書かれし新走り			飛蝗飛ぶ幼き皇子を背に乗せて	
		追伸の長くなりたる新酒かな	2021. 8.13		きちきちと飛びはたはたと舞ひ上る	2021. 6.17
		返信やちびりちびりと新走り			きちきちと飛びはたはたと舞ひあがる	
		返信やちびりちびりと今年酒			きちきちと飛びはたはたと遠ざかる	
		返信をちびりちびりと今年酒			ばつたばつたと倒ることもなくばつた	2021. 6.17
		礼状のちびりちびりと今年酒			ばつたばつたと倒ることもなかりけり	
		礼状にちびりちびりと今年酒			ばつたばつたと倒ることもなく飛べり	
		読み返す文やちびちび今年酒			ばたばたと飛べばばたばた追ふばつた	
		友の文読んでちびちび今年酒			はたはたと飛べはたはた追ひ行けり	
		友の文読みつちびちび今年酒	2021. 8.14	石榴	心臓の鼓動石榴の赤い粒	2021. 7. 4
		友の文読みつ新酒をちびちびと			実石榴の割れしは金で継ぐべかり	2021. 7. 6
		送り状読みつ新酒をちびちびと			実石榴の割れしは金でつなぐべし	
		送り状読みつつ新酒ちびちびと			実石榴の裂け目は金でつなぐべし	
		新酒酌む古女房に古亭主	2021. 8.13		金をもて実石榴の割れつなぐべし	
		古酒新酒古女房と古亭主			実石榴の裂け目は金で継ぐべかり	
		新酒酌む古女房と古亭主			太陽の寿命石榴の割れ具合	2021. 7. 6
		新酒や古女房と古亭主			太陽の寿命石榴の熟れ具合	2021. 9.12
		新酒くむ古女房と古亭主			石榴裂け太陽系の騒がしき	2021. 7. 6
		新酒くむ古女房に古亭主	2021. 8.14		花を待つ心石榴の割れを待つ	2021. 7. 6
		女房も亭主も古りぬ今年酒	2021. 8.15			
		徳利の中に出を待つ新酒かな	2021. 8.13			
	2 ^	盃はこの日のために新走り	2021. 8.14			
		髭面に滴る新酒勿体な	2021. 8.14			
		酒蔵の向への宿の新酒かな	2021. 8.14			
		この町に酒蔵ふたつ新走り				
		酒蔵の本家分家や新走り				
		酒蔵も宿屋も古し新走り				
		浄水場跡のビル街新酒酌む	2021. 8.14			

氷る	氷りつつ流るる星となりにけり	2020.11.20	春待つ	表面はかりりと焼けて春を待つ	2020.11.13
	市役所からの一本道や駅氷る	2020.11.20		神仏に春待つ花を供へけり	2020.11.19
	海に近く山にも近く駅氷る			仏壇に春待つ花を供へけり	
	通過する電車を待てる駅氷る			仏壇に春待つ花を奉る	
	駅氷る通過電車を見送りにて			御仏に春待つ花を奉る	
	全速で過ぎる電車や駅氷る			細菌の多き土壌や春を待つ	2020.11.19
	全速で過ぎる特急駅氷る			待てば来る春と思へど焦がれつつ	2020.11.19
	全速で特急通過駅氷る			待てば来る春と思へど春を待つ	
	特急の全速通過駅氷る			待てば来る春と思へど待ち切れず	
	火の色の特急通過駅氷る		木枯	歓迎の木枯小僧駅前に	2021. 9.21
	通過する電車を待ちて駅氷る	2020.12.26		駅前に歓迎の木枯小僧	2021.10. 7
	通過する電車ばかりや駅氷る	2021. 3. 5		木枯に鮭も大根も干されある	2021. 9.27
大寒	大寒の更地を囲む杭の数	2020.12. 3		木枯に干されしものの日暮かな	2021.10. 7
	大寒の更地を囲む杭の列	2021. 2.27		木枯やオーケストラの音合せ	2021.10. 7
	大寒の黒く大きなフライパン	2020.11.25		木枯にオーケストラの音合せ	
	大寒の黒くて丸いフライパン			木枯とオーケストラの音合せ	2021.10. 8
	大寒や黒く大なるフライパン			木枯と鏡の中の微笑かな	2021.10. 7
	大寒や大きな黒のフライパン			木枯に赤色廻る検問所	2021.10. 7
	大寒や丸く大きくフライパン			木枯に赤色灯の検問所	
	大寒や大きく丸くフライパン			木枯に赤色燈の検問所	
	大寒や大きく黒くフライパン			木枯に赤き燈廻る検問所	
	大寒や丸く重たきフライパン	2020.12. 3		木枯に赤き燈まはる検問所	
	大寒や丸く重たくフライパン			木枯に赤き灯まはる検問所	
	大寒の厨に肉を叩く音			木枯に吹かれて細き避雷針	2021.10. 7
	大寒の瞬間接着剤小さし	2020.12. 4		木枯の屋根に吹かるる避雷針	
	大寒の人には告げよ日の微笑	2020.12. 5		木枯に身を細うして避雷針	
	大寒の折目正しき鶴一羽	2020.12. 5	初時雨	金山に残るモーター初時雨	2020.11. 7
	大寒の四本脚の椅子机	2020.12. 5			
	大寒の踏ん張るものに椅子机				
	大寒の踏ん張つてゐる椅子机				
	大寒や踏ん張つてゐる椅子机				
	大寒の重さに耐へて椅子机				
	大寒の人に傳く椅子机				
	大寒や椅子も机も踏ん張つて				
	小寒を包む大寒重たけれ	2020.12. 5			
	大寒をもて小寒を上書きす				

山眠る	山の湯に肩まで浸り山眠る	2020.11. 5	木の葉 髪	来年の若葉は如何に木の葉髪	2021. 9. 9
	白き山も茶色の山も眠るなり	2020.11. 5		木の葉髪くしけづるてふ言葉かな	2021. 9.10
	金山でありし昔や山眠る	2020.11. 1		木の葉髪あはれ女の梳る	
	金山の頃の思ひ出山眠る	2020.11. 5		うたた寝によき日を得たり木の葉髪	2021. 9.10
	金山のころのおもひで山眠る			うたた寝を許されてみる木の葉髪	
	金山の面影もなし山眠る	2020.11. 6		まどろみが昼寝となりぬ木の葉髪	
	金山は夢のまた夢山眠る			うたた寝が昼寝となりぬ木の葉髪	
	金山に残るモーター山眠る			うとうとと寝てしまひけり木の葉髪	2021. 9.15
	金山に残るモートル山眠る			一生を棒のごとくに木の葉髪	2021. 9.10
	金山の頃のモートル山眠る			木の葉髪句稿と共にかき乱す	2021. 9.10
	月の夜も月の出ぬ夜も山眠る	2020.11. 5		櫛の齒の欠けてゆゆしや木の葉髪	2021. 9.10
	月の夜も月のなき夜も山眠る			蛇となり鬼女ともならん木の葉髪	2021. 9.11
	火を噴くは過去か未来か山眠る	2020.11. 5		抜け落ちて蛇ともならん木の葉髪	
	山眠る手紙の束は黄ばみつつ	2020.11. 5		蛇となり魔女ともならん木の葉髪	
おでん	出汁となり出汁の沁み入るおでんかな	2021. 1.12	メドューサも老いて悲しや木の葉髪		
	出汁となり出汁の沁み入るおでんの具		蛇となるか鬼女に化けるか木の葉髪		
	これしきのおでんの酒に酔ひしれて	2021. 1.18	メドューサも老いて悲しや木の葉髪		
	裏門をどつと出てくるおでんかな	2021. 1.18	木の葉髪呪へば蛇となりぬべし		
			蛇と化し闇に消え行く木の葉髪		
		ことごとく蛇となるべし木の葉髪			
		ともどもに蛇となるべし木の葉髪	2021. 9.14		
		共々に蛇となるべし木の葉髪			
		我と共に蛇となるべし木の葉髪			
		メドューサの木の葉髪とや蛇の殻			
		メドューサの木の葉髪とは蛇の殻	2021. 9.15		
		木の葉髪もとより血の気なかりけり	2021. 9.11		
		木の葉髪もとより血気なかりけり	2021. 9.15		

落葉	地下鉄は落葉を知らず闇の中	2021. 9. 4
	地下鉄は落葉を知らず闇に行く	
	地下鉄は落葉を知らず闇照らす	
	地下鉄は落葉を知らず闇長し	
	地下鉄は落葉を知らず長き闇	
	地下鉄は落葉を知らず闇響く	
	地下鉄は落葉の舞ひを知らざりき 地下鉄は落葉の舞心を知らざりき	2021. 9. 5
落葉掃く処々は落葉掻く	2021. 9. 4	
落葉掃く処々は掻き出して	2021. 9.11	
落葉掃く掻き出すやうなこともして		
踏まれたる落葉や既に土の色	2021. 9. 4	
落葉降り止まず魚を焼く煙	2021. 9. 5	
落葉籠押せば弾力ありにけり	2021. 9. 5	
落葉籠押せば落葉の押し返す		
旅人は落葉掻には加はれず	2021. 9. 5	
落葉掻くやうな遊んであるやうな	2021. 9. 5	
² ₀ 落葉堆し小鬼のかくれんぼ	2021. 9. 5	
² ₀ 落葉うづたかし小鬼のかくれんぼ	2021. 9. 6	
² ₁ 落葉うづたかし子鬼のかくれんぼ		
² ₀ 温泉の宿の番頭さんが落葉掃く	2021. 9. 5	
² ₀ 菩提寺の落葉の音を聞くべかり	2021. 9. 5	
² ₁ 菩提寺の落葉の音を聞きに来よ		
² ₀ 故郷の山の落葉を聞きに来よ	2021. 9. 6	